

Hospital 病院クローズアップ

国立病院機構

南岡山医療センター



院長PROFILE

谷本 安 (たにもと やすし)
1985年岡山大学医学部卒業。
1990年米田クレイトン大学アレルギーセンター研究員、1996年岡山大学、2013年以降、南岡山医療センター臨床研究部長、経理診療部長を経て、2017年同センター院長に就任。
所属学会：日本内科学会、日本呼吸器学会、日本アレルギー学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本結核・肺炎結核性抗酸菌感染症学会、日本老年医学会

南岡山医療センター DATA

■所在地

岡山県瀬野早島町早島4066

https://minamiokayama.hosp.go.jp

■病床数

400床(一般255床、看護25床、重症心身障害児(者)120床)

■診療科目

内科 / 脳神経内科 / 呼吸器内科 / 消化器内科 / 循環器内科 / 小児科 / 小児神経科 / アレルギー科 / 整形外科 / 皮膚科 / 耳鼻いんこう科 / 麻酔科 / リハビリテーション科 / 放射線科 / 歯科

■研修の特色

睡眠時無呼吸症候群など、大学の呼吸器科では扱わないような分野・症例の研究ができるのが魅力です。呼吸器・アレルギー分野でさまざまな疾患が経験できるほか、喘息やCOPD、間質性肺炎など、急性の増悪時の診療、リハビリテーションの分野でも多くの学びが得られます。



倉敷美観地区

南岡山医療センターのある街

足を伸ばせば美しくノスタルジックな街並みが楽しめる美観地区

南岡山医療センターのある早島町は、岡山県の南中央部に位置し、県庁所在地の岡山市と県下第2位の倉敷市に囲まれた場所にあたる。

近くには多くの観光スポットがあり、隣の倉敷市には白壁の蔵屋敷や柳並木といった情緒豊かな街並みが楽しめる倉敷美観地区がある。映画やドラマなど、多くのロケ地としても使われた場所だ。トートバッグや倉敷デニムで有名な「倉敷帆布」などの倉敷ブランドが揃い、町家を改装したレトロカフェなどが軒を連ね、観光客で賑わう。倉敷の実業家、大原孫三郎がつくった日本で最初の西洋美術館、「大原美術館」や明治時代の紡績工場を

「地域医療への貢献」と「専門医療の維持・発展」を目標に、オンリーワンの部分をより明確にしていこう

当院は呼吸器疾患、重症心身障害児・者、アレルギーなどの専門医療機関です。

神経難病に関しては、ALSを中心とした疾患を扱っており、100名ぐらいの方が長期入院されています。それ以外にも、空床を利用した医療型短期入所サービス、いわゆる「レスパイト入院」も積極的に受け入れています。

一般医療の中心は呼吸器ですが、その中でも岡山県の拠点病院となっている分野が2つあり、1つは結核、もう1つはアレルギー疾患です。喘息、アレルギーを専門にする医師の派遣が多かったこと、小児に関しては食物アレルギーなどの負荷試験を積極的に取り組んでいる実績が評価されました。

地域における役割として、早島町にある唯一の病院ということもあり、町が当院に望んでいるような医療、具体的な例を挙げれば、慢性疾患の急性増悪時においてもすぐ対応でき、他機関とも連携できるような体制を構築しているところです。

今後の展望ですが、現在、重点エリアは小児科と小児神経科が診ているのですが、当院がアレルギー疾患医療拠点病院であることより、アレルギーに取り組みたい、常勤になりたいと希望する医師も出てきています。こういった特徴をアピールし、その方面に進みたい方を積極的に採用しつつ、それを見た若い先生が「自分も」と希望して研修に来てくれるようになればという思いがあります。

また、これはまだ先のことですが、呼吸器領域の経験値を活かして、肺移植などの移植医療や再生医療とも関わっていけたらと思っています。たとえば、移植手術を受けた患者さんの術後の呼吸器リハビリテーションなど、移植医療の後方支援です。これほどこの病院でもできるものではない、特殊なジャンルですので、そういった部分を当院で引き受けていきたいと考えています。

若い先生方へのメッセージですが、当院は専門分野に特化して、オンリーワンの部分を伸ばし、そこにある程度集約していこうという病院です。矛盾するようですが、内科医であるなら、若いうちにこそ、内科全般を幅広くしっかり研修していただくことが第一だと思います。患者さんは合併症を抱えていらっしゃるものが多く、自分の得意な領域以外の部分も包括的に診察する能力が必要になってくる場合が少なくないからです。

若い時は是非、興味のあるところを伸ばすだけでなく、それ以外の救急医療や内科全般をきっちり研修してほしい。当院でも地域医療に取り組み、いろいろな慢性疾患の急性増悪を受け入れています。呼吸器の医師であっても、専門外の領域を診ることもあるでしょう。専門だけにとらわれず、全体をきちんと診られる医師を目指していただきたいです。



リハビリテーション室



検査室



1階病棟(神経難病)食堂・デイルーム

再利用した、赤レンガが薫が絡まり、なんとも良い味わいを醸し出すホテルを中心とする複合観光施設「アイビススクエア」などもある。

他にも、町家建築の代表的なもので国の重要文化財にも指定されている大橋家住宅や、大正11年に建てられたルネサンス風建築の中国銀行倉敷本町出張所、古い米蔵を再利用した日本郷土玩具館など、レトロで美しい建物が多く残る街だ。倉敷館もレトロな洋風建造物で、美観地区の中心にあり、大正6年に町役場として建てられたもの。観光案内所にもなっているため、ここで情報収集をして、倉敷の町を堪能してみるのも良い。

